

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・ビジネス情報	科目：	産業技術基礎	単位数：	2	指導学年：	1
使用教科書	ビジネス基礎（実教出版）		副教材	ビジネス基礎 新訂版 問題集			

年間指導目標：

- 1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- 3) 職業人としての人間性を育みよりよい社会の構築を目指して自ら学び経済の創造と発展に主体的・協働的に取り組む姿勢を養う。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論・データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えられる。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。

評価方法										配当 時数
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度						
学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	第1章 商業の学習とビジネス 1:いざビジネスの世界へ 2:私たちの社会とビジネス	(知)	商業を学ぶ重要性和学び方、ビジネスの概要について、理解している。	○		○			12
			(思)	商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。	○		○			
			(態)	ビジネスの基本的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。				○	○	

1 学期	期 末 考 査	第2章 ビジネスとコミュニケーション 1:コミュニケーション 2:ビジネスマナー	(知)	・ビジネスにおける信頼関係の構築について実務に即して理解し関連する技術を身に付けている。 ・経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。	○		○			12
		第3章 経済と流通の基礎 1:経済の仕組みとビジネス	(思)	・ビジネスの場면을分析し、ビジネスにおいて他者への対応について考えている。 ・経済と流通に関する課題を発見し、その対応策を考えている。	○		○			
		ビジネスにおける信頼関係の構築や経済の仕組みと流通の必要性について理解します。	(態)	・情報を入手して活用し、評価・改善している。 ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・経済の基本概念を踏まえ、流通間を支える活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				○	○	
2 学期	中 間 考 査	第4章 さまざまなビジネス 1:ビジネスの種類 2:小売商 3:卸売商 4:金融業 5:情報通信業	(知)	・ビジネスの種類と流通、流通に関わる様々なビジネスについて、経済社会における事例と関連付けて理解している。	○		○			16
		ビジネスの種類について理解し、流通やそれに関わる様々なビジネスについて学びます。	(思)	・流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	○		○			
			(態)	・流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・取引の課題を発見し、対応策を考えている。				○	○	
2 学期	期 末 考 査	第5章 企業活動の基礎 1:ビジネスと企業 2:マーケティングの重要性	(知)	・企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・取引の実務に即して理解するとともに関連する技術を身に付けている。	○		○			16
		第6章 ビジネスと売買取引 1:売買取引の手順 2:代金決済	(思)	・企業活動や取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。	○		○			
		企業活動の形態と組織、マーケティングの流れ、売買取引、代金決済など取引の知識や技術を学びます。	(態)	・企業活動や取引について自ら学び、企業活動に関連する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				○	○	
3 学期	学 年 末 考 査	第7章 ビジネス計算 1:ビジネス計算の基礎 2:ビジネス計算の応用	(知)	・ビジネス計算について実務に関して理解し関連する技術を身に付けている。 ・さまざまな地域のビジネスについて理解している。	○		○			22
		第8章 身近な地域のビジネス 1:さまざまな地域の魅力と課題	(思)	・身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、ビジネスの振興策を考え、実施および評価・改善を行っている。	○		○			
		2:地域ビジネスの動向 さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学びます。	(態)	・ビジネス計算や身近なビジネスについて自ら学び、ビジネス振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				○	○	
合計										78